

01
12月 2018

目から鱗 一半熟卵を茹でるための 卵穴開け器、パイナップルを切る器具

by NCM2 CHOIR

全4page



半熟卵のゆで方を「**ためしてガッテン**」のプログラムで教授されました。お鍋に水を沸騰させ、底に穴を開けた卵を3分入れ、火を止め、その後、7分そのまま放置し、お湯から取り出す。というものでした。たしかにとっても良い具合の半熟卵ができます。でも卵の底に穴を開けるといのがなかなか難しいのです。ちょっとクラックを入れると、卵の液が流れ出してしまうからです。



日本の大創でそのための穴開け器を見つけました。(アメリカの大創では見たことがありません)

この器具に卵を載せて押さえると、とても小さな穴が卵の底に開くのです。



小さいので、中の卵が流れ出すことはありません。おかげで毎日半熟卵をいただいています。

我が家のガスでは火を止めて放置するまで5分でちょうどよい半熟になります。



また先日パイナップルを切る器具をいただきました。
パイナップルを切るのは面倒ですよ
ね。安くても切るのが面倒で買いたく
なくなります。ところが、これだとき
れいに切れるのです。

まず両端を切り、そこにこの器具を
つっこみます。



そして持ち上げ、、、

今度はこのように一口大に切れるのです。



これらを発明した人達はすごいとおもいます。まさに目から鱗です。

ところで「目から鱗」という言葉は聖書がはじめて用いた言葉です。

ネットで検索すると、語源として使徒行伝第九章が出てきます。18節、盲目になったサウロの目から「鱗のようなものが落ちて元通りになった。」とあります。

聖書を読みたくありませんか？

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp

URL <http://www.oriochristianchurch.net>